

## 第3章 調査結果（中学生アンケート調査）



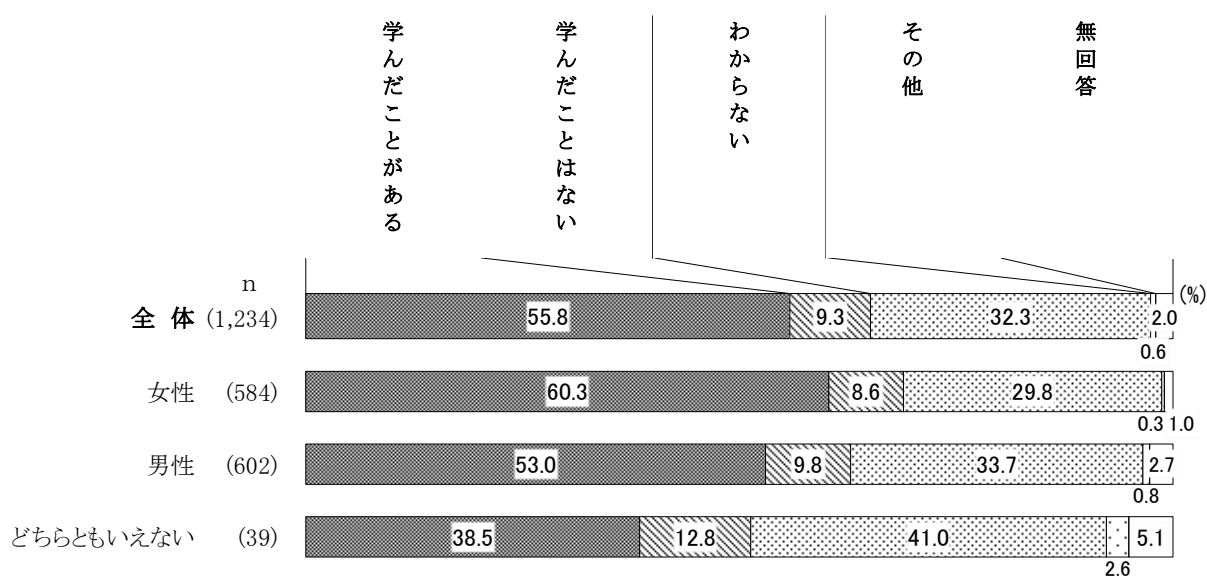
（1）「男女共同参画」を学んだ経験

問1 あなたは小・中学校で、これまでに「男女共同参画」（以下のような内容）について学んだことはありますか？あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

（○は1つ）

「男女共同参画」について（例）

- ・自分らしさを大切にすること
- ・命や性の大切さのこと
- ・性別に関わりなく、個性を発揮する大切さのこと
- ・夢をもって将来の進路を選択する大切さのこと
- ・家族の助け合い、支え合いの大切さのこと など

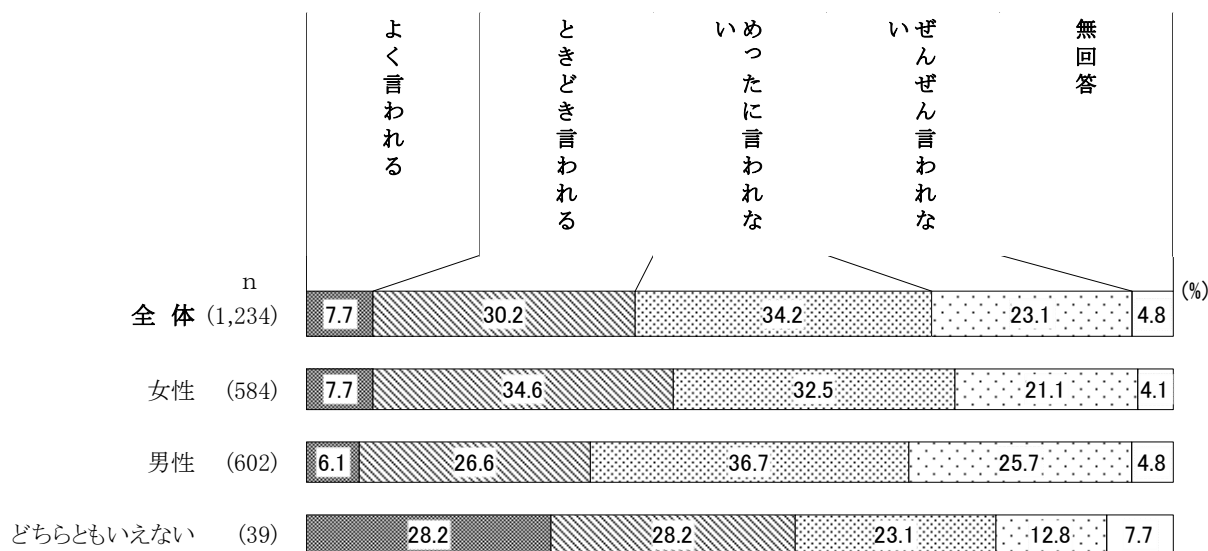


これまでに男女共同参画について「学んだことがある」は55.8%、「学んだことはない」は9.3%、「わからない」は32.3%となっている。

性別にみると、「学んだことがある」は女性が60.3%で男性（53.0%）を7.3ポイント上回っている。どちらともいえない、答えたくないでは、「学んだことがある」は38.5%と女性や男性より少なくなっている。

（2）男らしさ・女らしさ（言われた経験）

問2 あなたは大人の人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことはありますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。  
 （○は1つ）

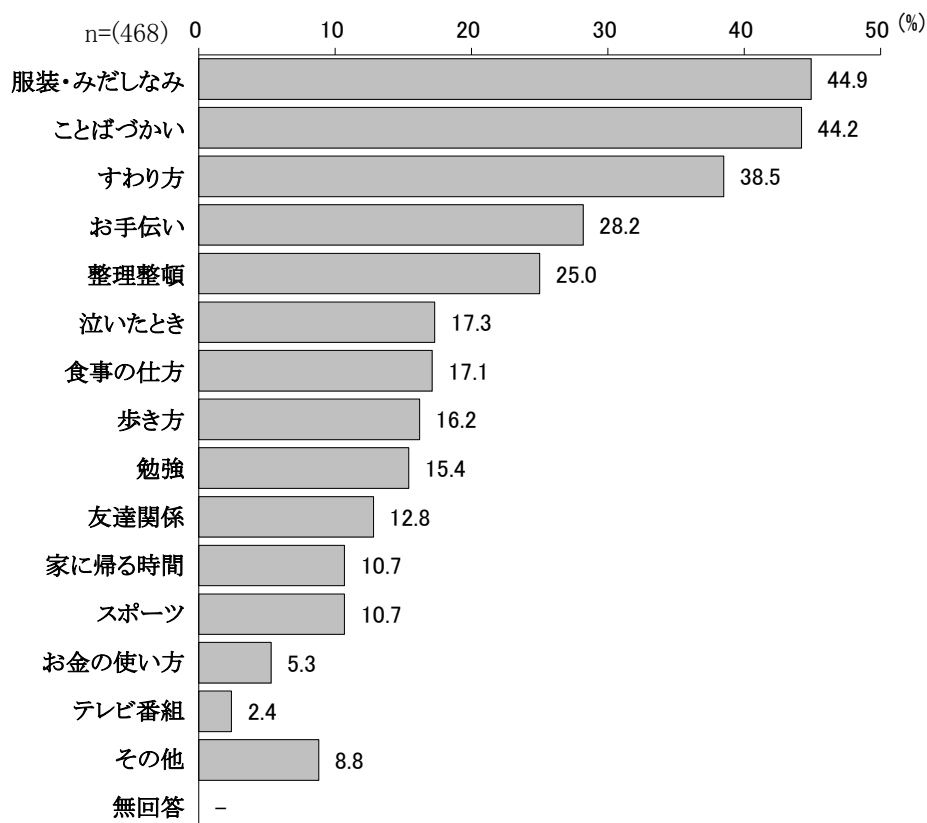


男らしさ・女らしさのことを大人に言われた経験は、「よく言われる」は7.7%と少ないが、これに「ときどき言われる」(30.2%)をあわせた《言われる》は37.9%、一方、「ぜんぜん言われな」は23.1%、「めったに言われな」は34.2%で、両者をあわせた《言われな》は57.3%となっており、言われたことがある人がより多くなっている。

性別にみると、《言われる》は女性が42.3%で男性(32.7%)を、《言われな》は男性が62.4%で女性(53.6%)を9ポイント前後上回っている。どちらともいえない、答えたくないでは、《言われる》が56.4%と女性や男性より多くなっている。

(3) 男らしさ・女らしさ（言われた内容）

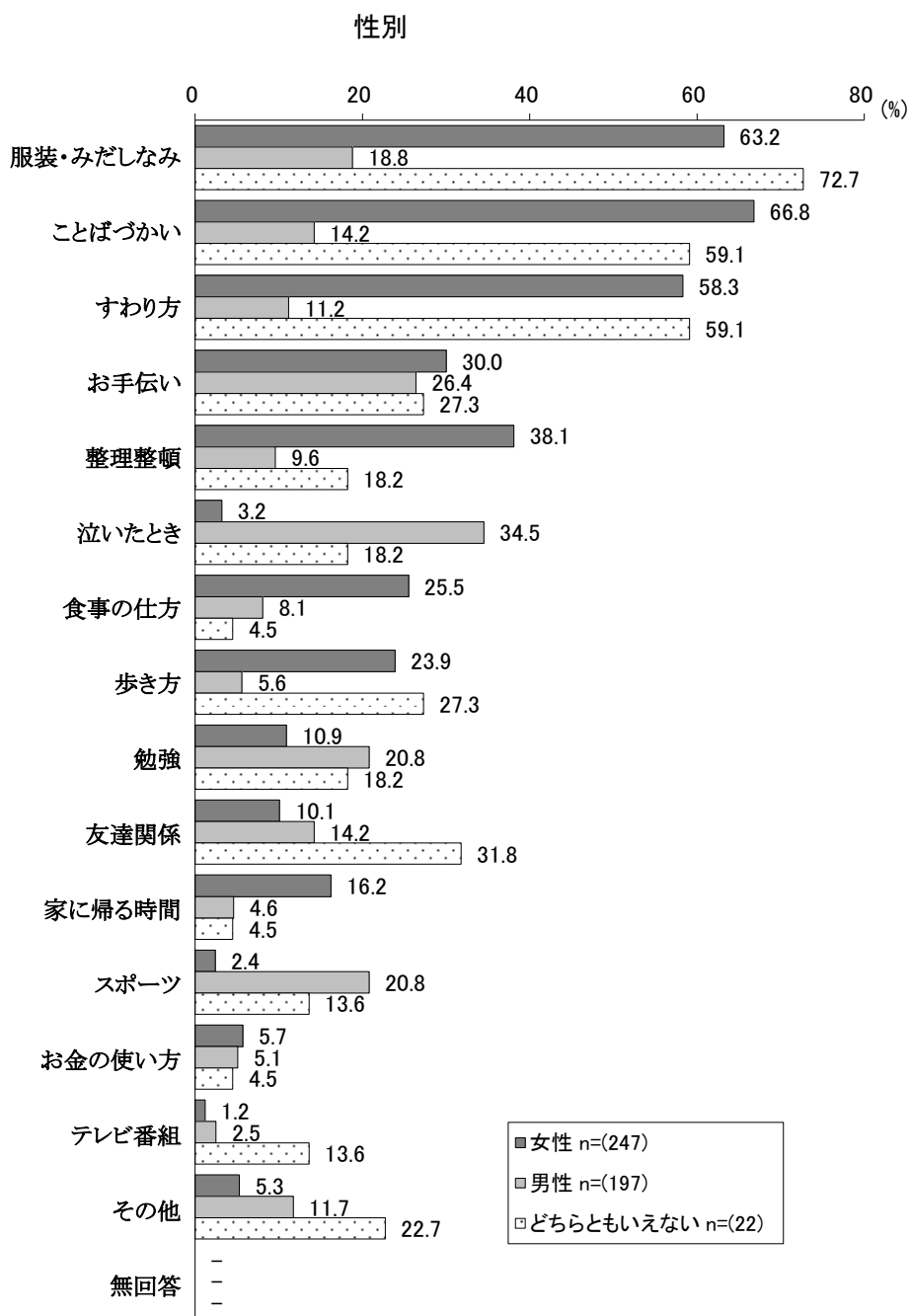
【問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。】  
 問3 どんなことについて言われましたか。あてはまる番号全部に○をつけてください。  
 （○はいくつでも）



男らしさ・女らしさとして言われた内容は、「服装・みだしなみ」（44.9%）、「ことばづかい」（44.2%）の2項目が4割台と多く、次いで「すわり方」が38.5%、「お手伝い」（28.2%）、「整理整頓」（25.0%）が2割台となっている。

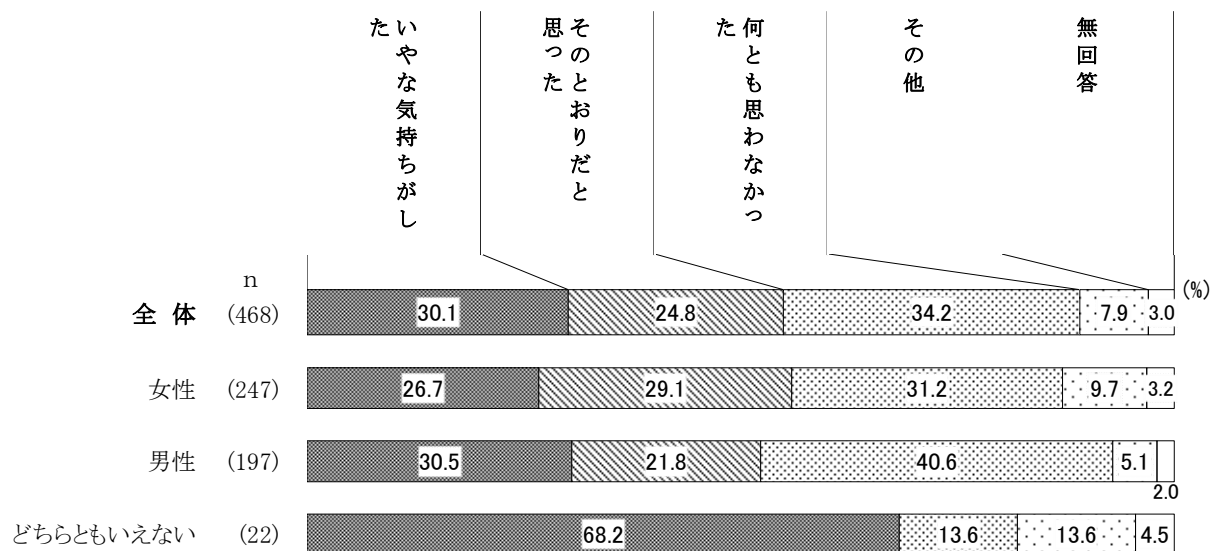
### 第3章 調査結果（中学生アンケート調査）

性別にみると、多くの項目で女性の方が男性より多く、特に「服装・みだしなみ」、「ことばづかい」、「すわり方」が5割以上と多く、男性を40ポイント以上大きく上回っている。この他、「整理整頓」も28.5ポイント、「歩き方」、「食事の仕方」、「家に帰る時間」でも12ポイント以上男性より多くなっている。男性では「泣いたとき」が31.3ポイント、「スポーツ」で18.4ポイント女性より多くなっている。



（4）男らしさ・女らしさ（その時の気持ち）

【問2で「よく言われる」または「ときどき言われる」と答えた方に聞きます。】  
 問4 あなたはその時どんな気持ちがしましたか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（○は1つ）

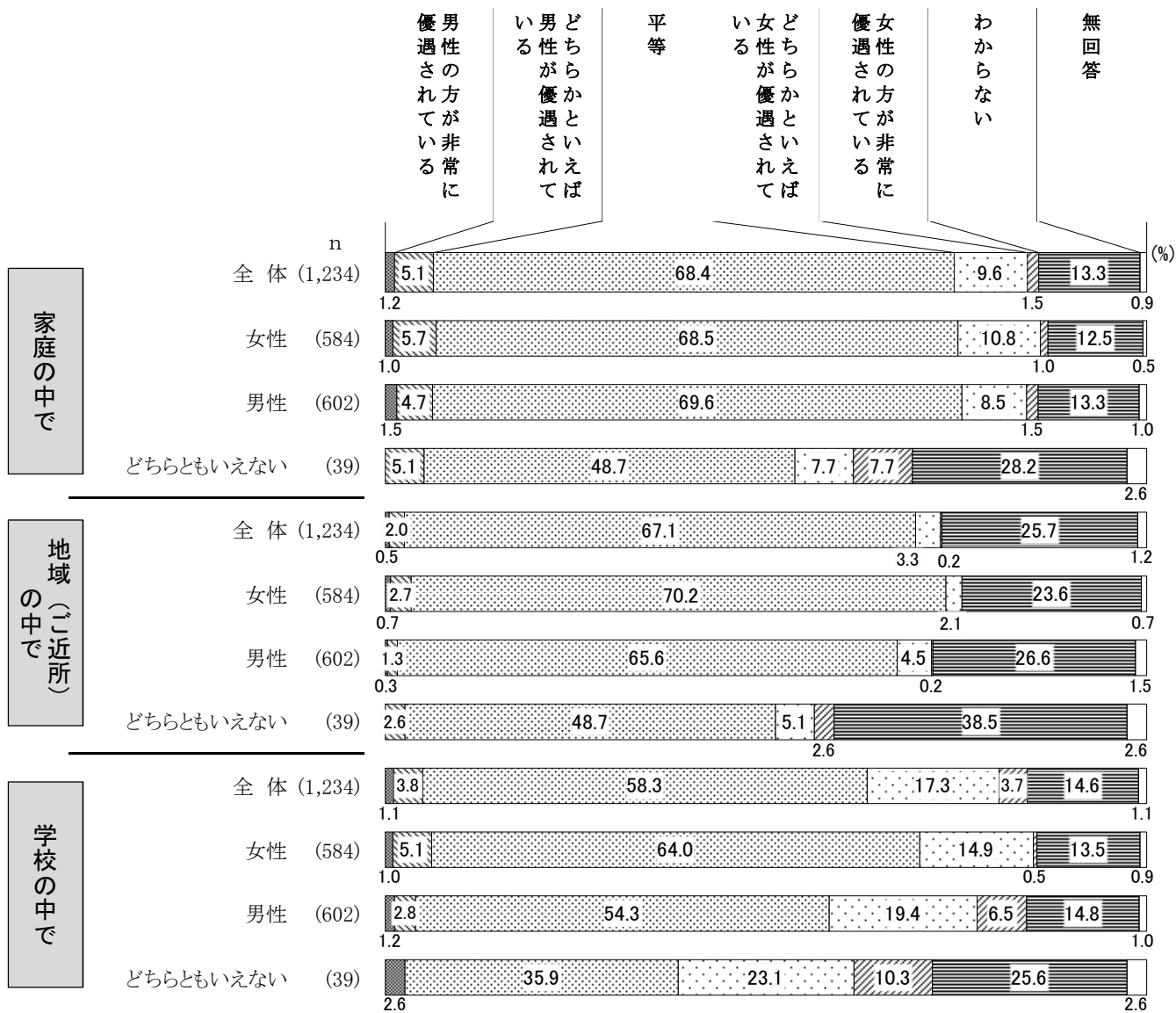


その時どんな気持ちがしたかでは、「いやな気持ちでした」が30.1%、「そのとおりで思った」が24.8%、「何とも思わなかった」が34.2%となっている。

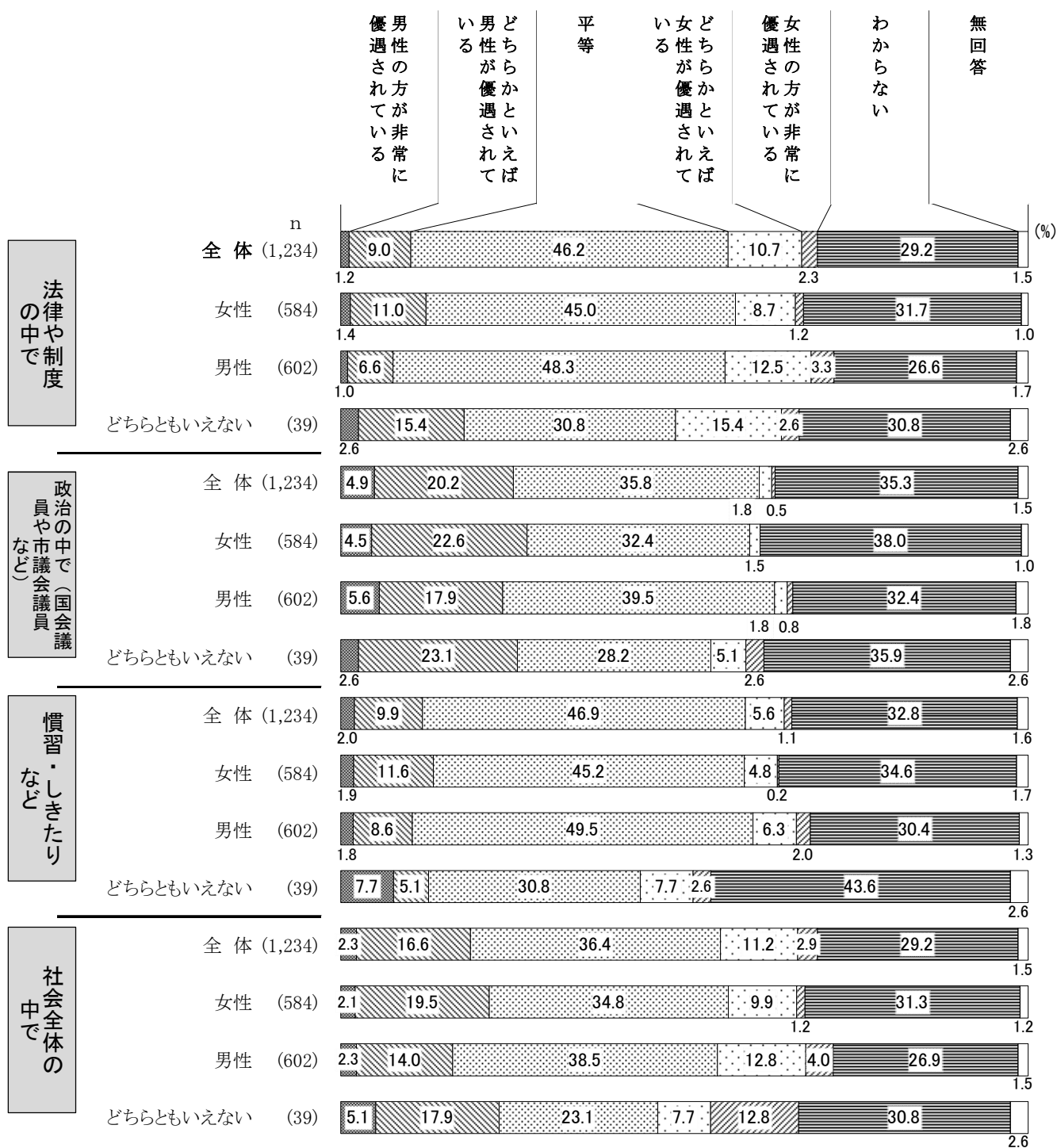
性別にみると、「そのとおりで思った」は女性が29.1%と男性（21.8%）を7.3ポイント、「何とも思わなかった」は男性が40.6%と女性（31.2%）を9.4ポイント上回っている。

（5）男女平等感

問5 次の各場面で、男女の立場は平等になっていると思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（それぞれ○は1つ）





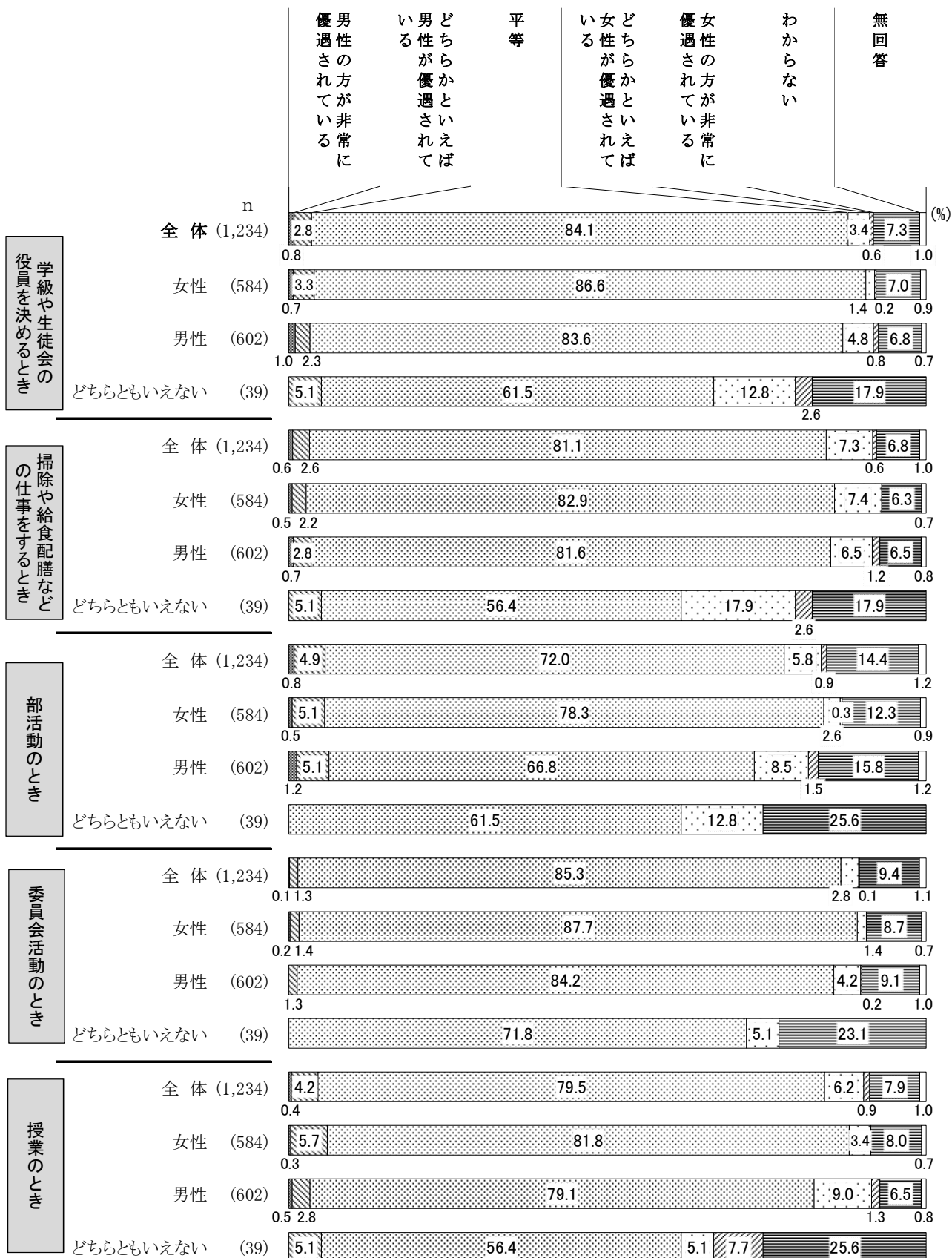


男女平等感は、いずれの項目でも「平等」が多くなっているが、“学校の中で”は《女性優遇》（「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の計）が、“政治の中で(国会議員や市議会議員など)”は《男性優遇》（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の計）が2割台と比較的が多くなっている。

性別にみると、《男性優遇》はいずれの性別でも“政治の中で(国会議員や市議会議員など)”が2割台と他の項目と比較して多くなっている。《女性優遇》は男性とどちらともいえない、答えたくないで“学校の中で”が2割以上となっている。

（6）学校生活での男女平等

問6 あなたは、次にあげるような学校生活の場面で、男女は平等になっていると思いますか。それぞれについて、あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。  
（それぞれ○は1つ）

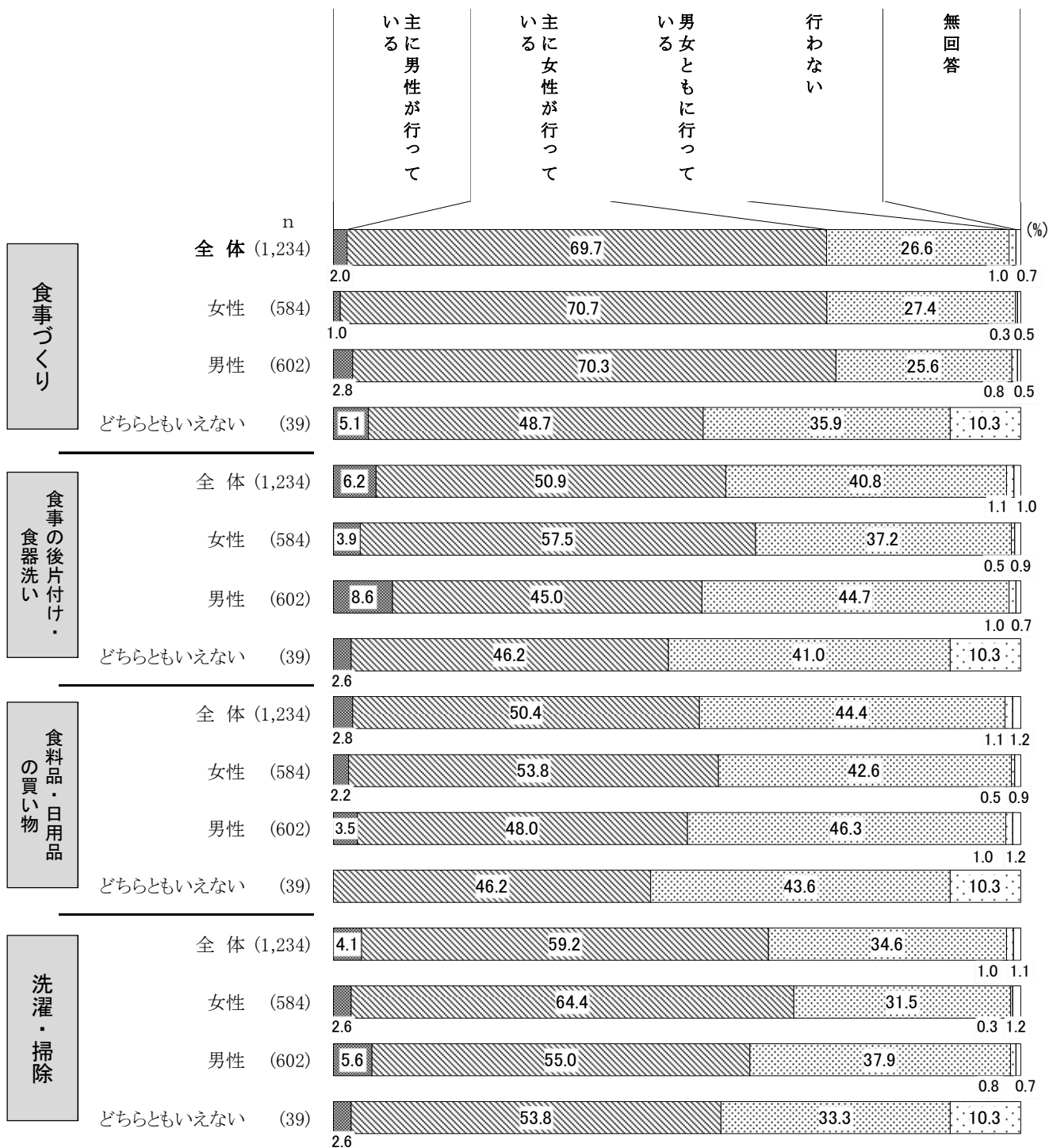


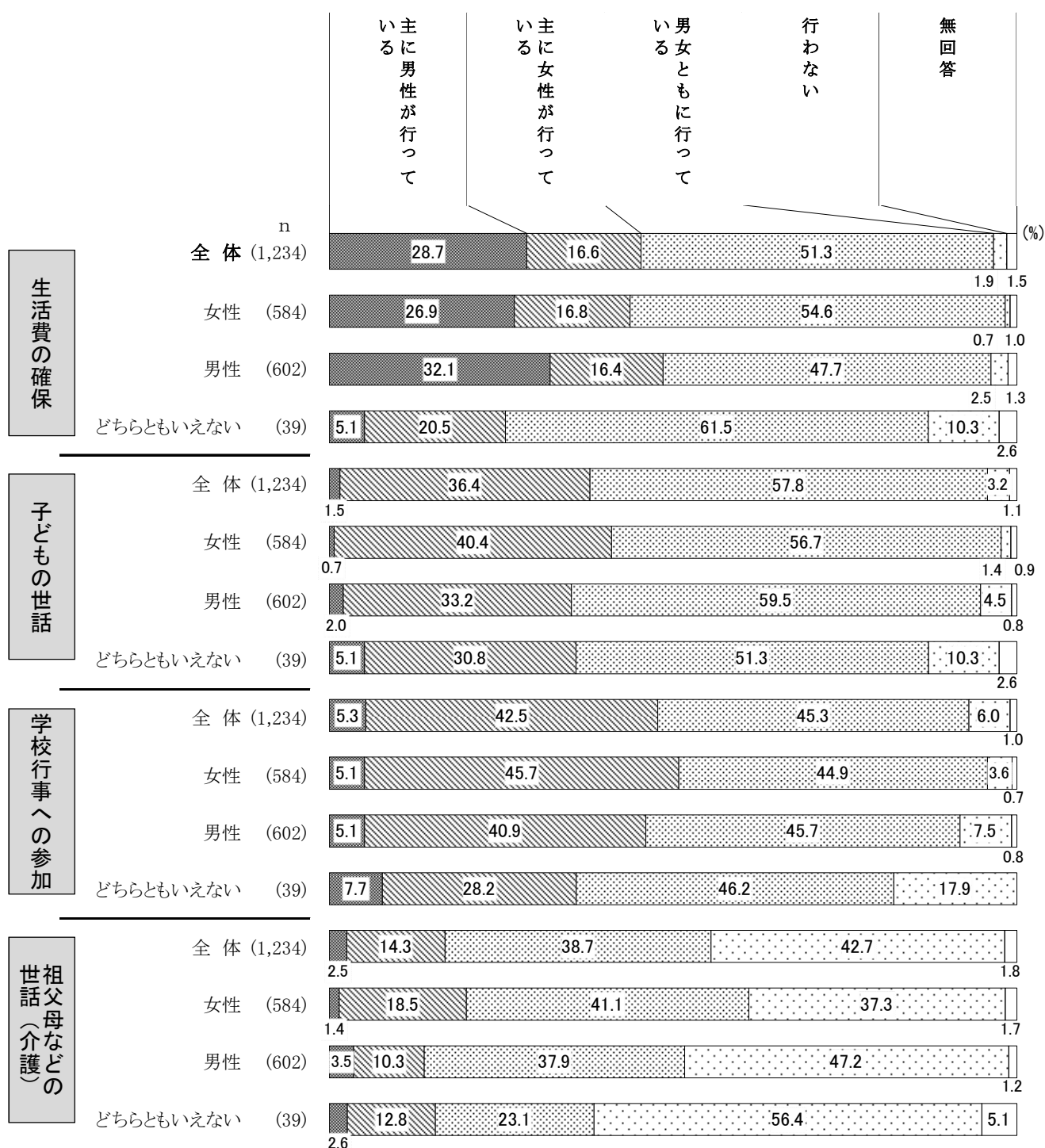
学校生活の場面での男女平等意識は、いずれの項目でも「平等」が7割以上と多くなっている。

性別にみると、《女性優遇》（「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の計）はどちらともいえない、答えたくないで、“掃除や給食配膳などの仕事をするとき”が2割台と他の項目と比較して多くなっている。

（7）家庭での性別役割分業

問7 あなたの家庭では、次の仕事は男性・女性どちらが行っていますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（それぞれ○は1つ）



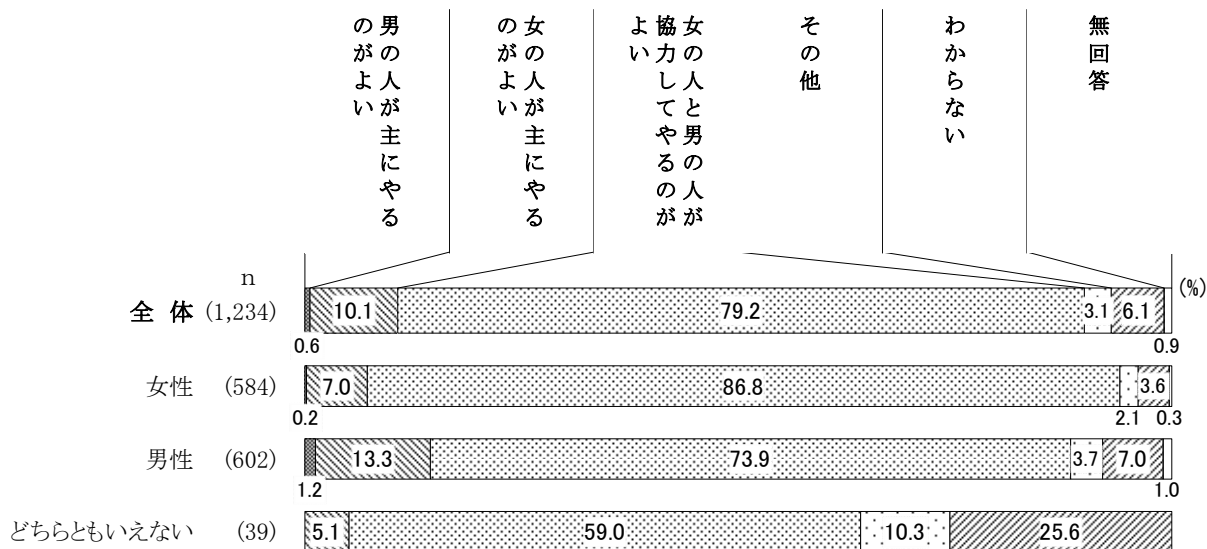


家庭生活での男女役割分担として、「主に女性が行っている」が多い項目は、「食事づくり」、「食事の後片付け・食器洗い」、「食料品・日用品の買い物」、「洗濯・掃除」で5割以上となっている。「男女ともに行っている」は、「生活費の確保」、「子どもの世話」が5割台、「食事の後片付け・食器洗い」、「食料品・日用品の買い物」、「学校行事への参加」が4割台となっている。

性別にみると、概ね全体の傾向に準じた結果となっているが、どちらともいえない、答えたくないでは、「男女ともに行っている」が「生活費の確保」と「食事づくり」で他の性別より多くなっている。

（8）家事の性別役割分担意識

問8 あなたは家の中で、家事（料理・掃除・洗濯・子育てなど）は、誰がするのが一番よいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（○は1つ）

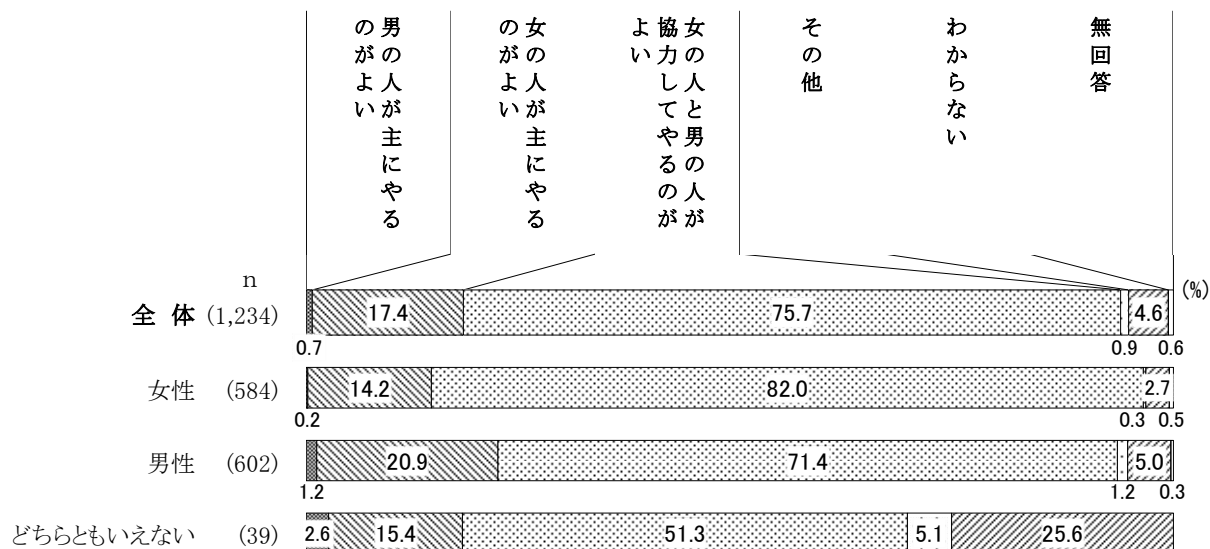


家事における性別役割分担意識は、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が79.2%と多く、「女の人が主にやるのがよい」が10.1%となっている。「男の人が主にやるのがよい」は1割未満と少なくなっている。

性別にみると、男女ともに「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が7割以上でなっており、女性では86.8%と男性（73.9%）を12.9ポイント上回っている。どちらともいえない、答えたくないでも「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が59.0%となっているが、女性や男性よりは少ない。また、どちらともいえない、答えたくないでは、「わからない」も25.6%と比較的多くなっている。

（9）子育てにおける性別分担意識

問9 あなたは、子どもが小さい時の子育ては、誰がするのが一番いいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（○は1つ）

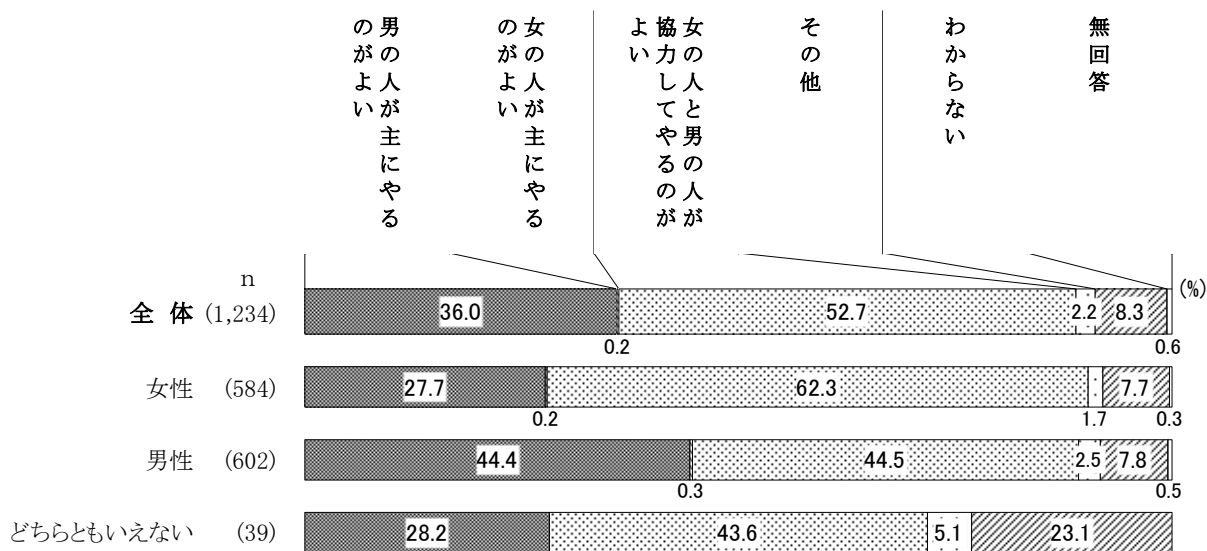


子育てにおける性別役割分担意識は、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が75.7%と多く、「女の人が主にやるのがよい」が17.4%となっている。「男の人が主にやるのがよい」は1割未満となっている。

性別にみると、男女ともに「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が7割以上となっており、女性では82.0%と男性（71.4%）より10.6ポイント多くなっている。どちらともいえない、答えたくないでも「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が51.3%となっているが、女性や男性よりは少ない。また、どちらともいえない、答えたくないでは、「わからない」も25.6%と比較的多くなっている。

(10) 家計収入の性別役割分担意識

問10 あなたは、生活費をかせぐ仕事を、誰がするのが一番いいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（○は1つ）



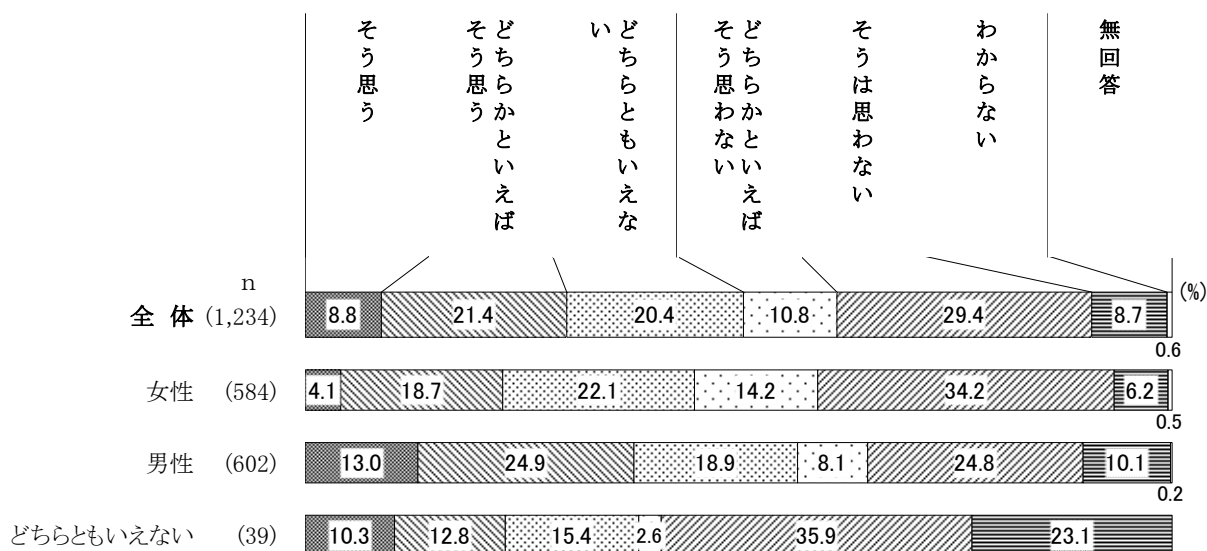
家計収入における性別役割分担意識は、「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が52.7%と多く、「男の人が主にやるのがよい」が36.0%となっている。

性別にみると、男女ともに「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が多く、女性では62.3%と男性（44.5%）を17.8ポイント上回っている。「男の人が主にやるのがよい」は男性が44.4%と女性（27.7%）を16.7ポイント上回っており、生活費をかせぐのは女性では男女で協力という考え方が、男性では男性が、あるいは男女で協力という考え方と二分している。また、どちらともいえない、答えたくないでも「女の人と男の人が協力してやるのがよい」が43.6%となっている。



(11) 「男は仕事・女は家庭」という考え方

問11 「男は仕事・女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（○は1つ）

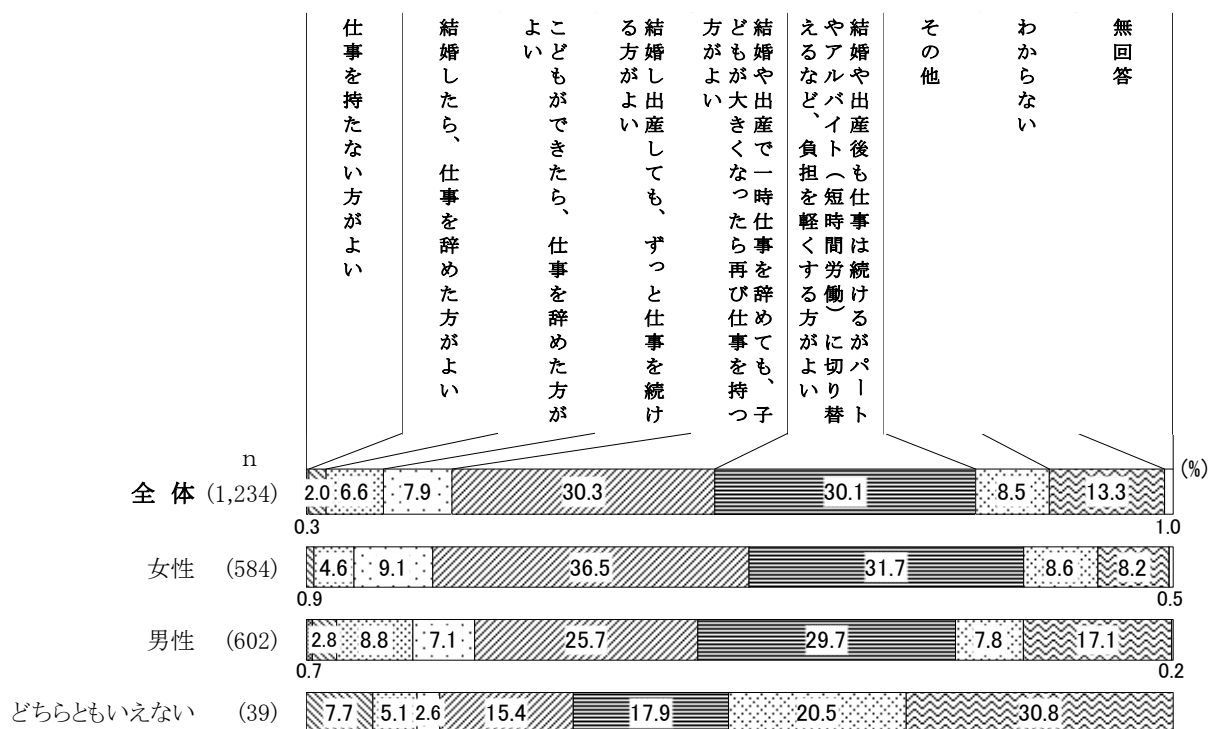


「男は仕事・女は家庭」という考え方を「そう思う」は8.8%、「どちらかといえばそう思う」は21.4%で両者をあわせた《そう思う》は30.2%、一方、「そうは思わない」は29.4%、「どちらかといえばそう思わない」は10.8%で両者をあわせた《そう思わない》は40.2%となっており、否定的な意見が多くなっている。

性別にみると、女性では《そう思わない》(48.4%)が半数近くとなっているが、男性では《そう思う》は37.9%と《そう思わない》(32.9%)を上回り、肯定的な意見がやや多くみられる。どちらともいえない、答えたくないでは、《そう思う》は23.1%、《そう思わない》は38.5%となっており、「わからない」が23.1%と女性や男性より多くなっている。

(12) 女性が仕事を持つこと

問12 あなたは一般的に女性が仕事を持つことについて、どのように考えますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（○は1つ）

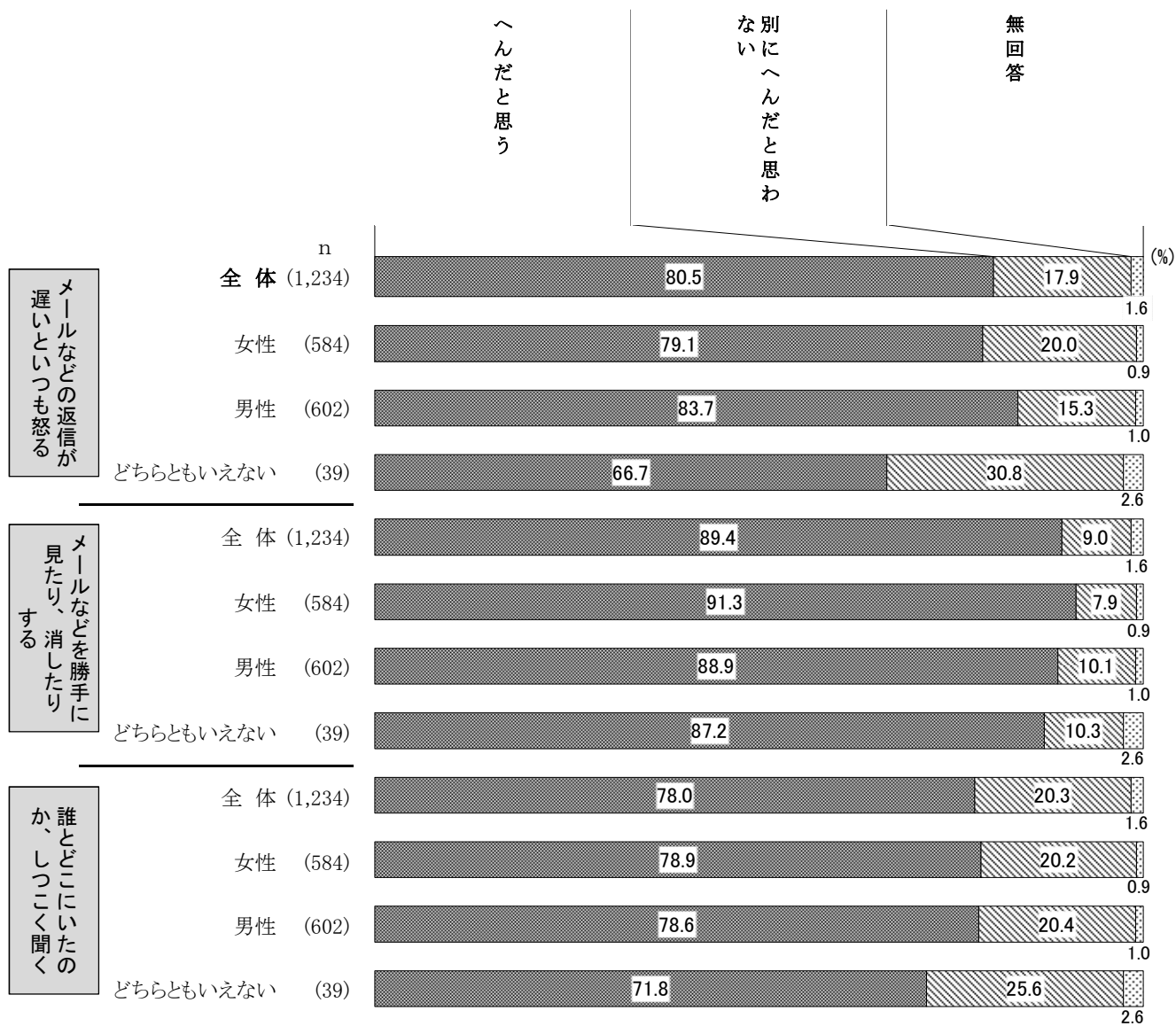


女性が仕事持つことでは、「結婚や出産で一時仕事を辞めても、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」(30.3%)、「結婚や出産後も仕事は続けるがパートやアルバイト（短時間労働）に切り替えるなど、負担を軽くする方がよい」(30.1%)が3割台となっており、「結婚し出産しても、ずっと仕事を続ける方がよい」(7.9%)を含め、ライフステージに変化があっても何らかの形で就業を希望する人は7割近くとなっている。

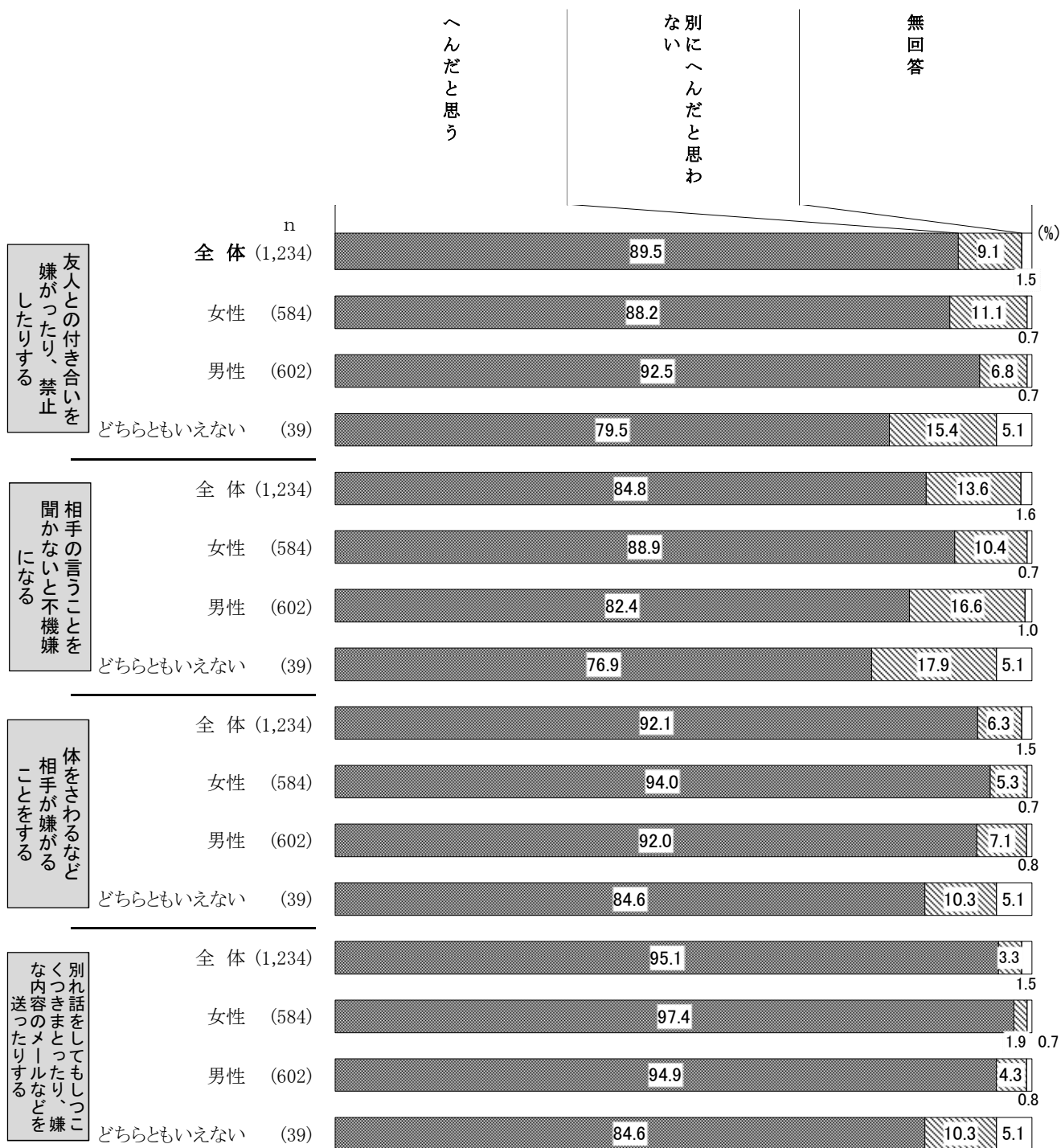
性別にみると、女性では「結婚や出産で一時仕事を辞めても、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が36.5%と男性(25.7%)を10.8ポイント上回っている。どちらともいえない、答えたくないでは、「わからない」が30.8%と女性や男性より多くなっているが、就業を希望する人は35.9%と女性(77.3%)や男性(62.5%)より少なくなっている。

(13) 恋人関係について

問13 恋人同士の交際について、次のような関係をどう思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。（それぞれ○は1つ）



第3章 調査結果（中学生アンケート調査）

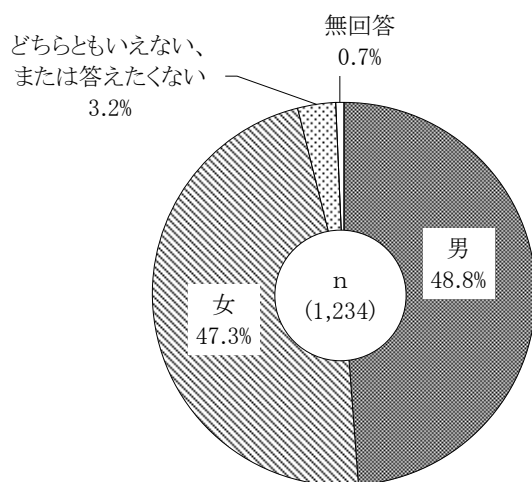


恋人同士の関係では、すべての項目で「へんだと思う」が7割以上と多くなっており、特に“体をさわるなど相手が嫌がることをする”、“別れ話をしてもしつこくつきまったり、嫌な内容のメールなどを送ったりする”は9割以上を占めている。

性別にみると、全体の傾向に準じた結果となっているが、どちらともいえない、答えたくないでは、いずれの項目でも「別にへんだと思わない」が他の性別より多くなっており、特に“メールなどの返信が遅いといつも怒る”が30.8%となっている。

(14) 性別

問14 あなたの性別はなんですか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

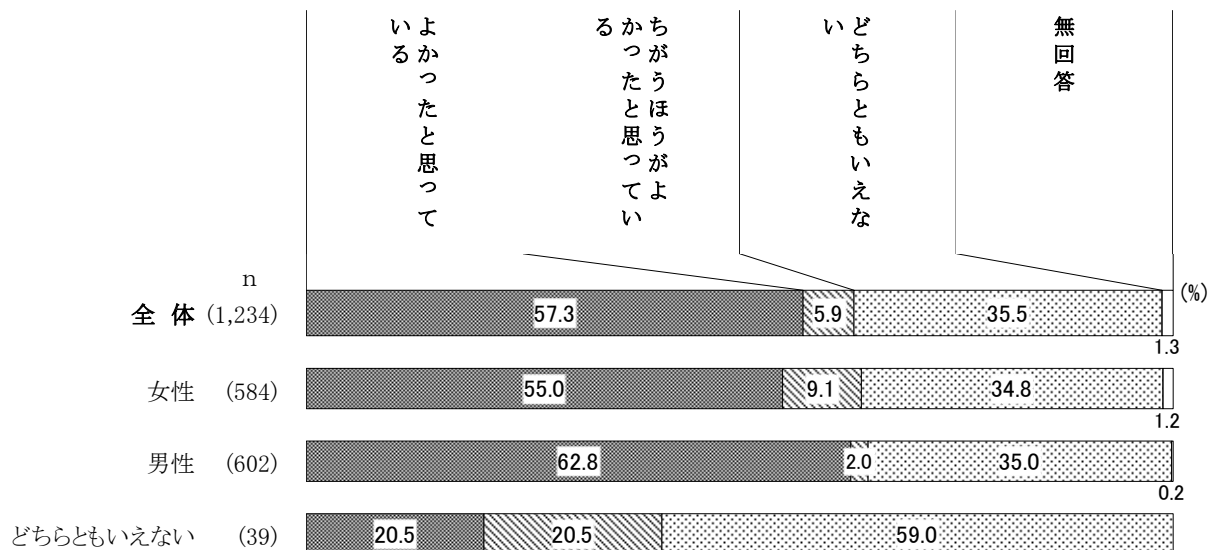


性別は「男性」が48.8%、「女性」が47.3%とほぼ二分しており、「どちらともいえない、または答えたくない」は3.2%となっている。

※なお、中学生アンケート調査の問13までの図表では「どちらともいえない、または答えたくない」は「どちらともいえない」と簡易表記している。また、本文内においては市民アンケート調査にあわせて、「どちらともいえない、答えたくない」と表記している。（4ページ参照）

(15) 自分の性別について

問15-1 あなたは、自分が男子または女子に生まれたことをどのように思いますか。あてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。



自分が男子または女子に生まれたことを「よかったと思っている」は57.3%、「ちがうほうよかったと思っている」は5.9%、「どちらともいえない」は35.5%となっている。

性別にみると、男女ともに「よかったと思っている」が5割から6割台となっており、男性では62.8%と女性（55.0%）より7.8ポイント上回っている。「ちがうほうよかったと思っている」は女性（9.1%）と男性（2.0%）を7.1ポイント上回っている。どちらともいえない、答えたくないは、「どちらともいえない」が59.0%と女性や男性より多くなっている。

(16) その理由

問15-2 なぜ、そのように思いますか。よろしければ理由を教えてください。

「よかったと思っている」、「ちがう方がよかったと思っている」、「どちらともいえない」と回答した主な理由は以下の通りとなっている。

希望	あなたの性別	その理由(記入の多いもの)
よかった	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃれや料理など女性ならではの楽しみがある</li> <li>・楽しい、幸せ、満足</li> <li>・産んでもらえたことに感謝したいから</li> </ul>
	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい、幸せ、満足</li> <li>・楽だから、気軽だから</li> <li>・女性は生理や出産などが大変そうだから</li> <li>・女性は人間関係が面倒そう</li> <li>・その性に生まれたのだから、受け入れたい</li> </ul>
	どちらでもない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい、幸せ、満足</li> </ul>
ちがう方がよかった	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性は人間関係が面倒だから</li> <li>・男性の方がいろいろな面で楽そうだから</li> </ul>
	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性として生き方も経験してみたい</li> <li>・男は泣くことが許されないから</li> <li>・女性はオシャレができるから</li> </ul>
	どちらでもない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異性（今とは逆の性別）になりたい</li> <li>・女性の方が人間関係で苦勞する</li> <li>・自分がLGBTなので</li> </ul>
どちらともいえない	女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらの性にも良いこと悪いことはあるから</li> <li>・異性も経験してみたい、なりたいから</li> <li>・異性になったことがないので、わからない</li> </ul>
	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらの性にも良いこと悪いことはあるから</li> <li>・異性になったことがないので、わからない</li> <li>・その性に生まれたのだから、受け入れたい</li> </ul>
	どちらでもない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらでもいい／どちらでも変わらない</li> <li>・自分のことは中性だと思っているから</li> </ul>

※現在の性別の「どちらでもない」は回答者が少ないため、1～2件の回答内容となっている。

(17) 自由回答

男子・女子といった性別に関係なく、一人ひとりの個性や能力を活かして、いろいろなことをみんなで協力しあっていく「男女共同参画社会」を実現するためにはどうしたらいいと思いますか？あなたの意見を自由にご記入ください。

「男女共同参画社会」を実現するための方策を自由に記述していただいた。多くみられた意見としては、「男女の違いを考える／男女お互いの理解やその機会の提供」、「性差別や偏見をなくす」、「多くの場面で平等の社会にする」、「個々の意識改革や啓発、固定観念の排除」、「皆で仲良くし、協力する」、「性別で分けられているものをなくす」、「計画の実現や施策のPR」などとなっている。

